

STOP!

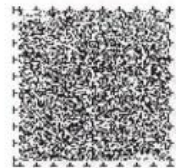
住宅火災

～いま、備えよう～

火災による死者の約 9 割は住宅で発生しています

東京消防庁

TOKYO FIRE DEPARTMENT



火の出る場所を知る

東京消防庁管内では平成30年から令和4年までの5年間に住宅火災による死者が360名発生し、出火原因の約半数(181名)がたばこ・ストーブ・こんろ・コードによるものです。

たばこ 住宅火災の死者発生率第1位

火種は微小なものでも無煙燃焼が続き、気づかぬうちに大きな炎へと拡大します。

- ☑ 寝たばこは絶対にしない。
- ☑ 吸い殻は水に漬けて完全に消火する。
- ☑ 禁煙、加熱式たばこへの切替も考える。



ストーブ 約8割は電気ストーブ

布団などの可燃物が接触し火災に至る事例が多く発生しています。

- ☑ 周囲には燃えやすいものを置かない。
- ☑ ストーブの近くで洗濯物を干さない。
- ☑ 外出時や就寝時は必ず消す。



こんろ 出火原因第1位

目を離したり、油断した時が要注意!

- ☑ 安全機能(Sセンサー)付こんろを使用する。
- ☑ 調理中はこんろから離れない。
- ☑ 周囲を整理整頓し、可燃物を置かない。
- ☑ 鍋底から火がはみ出さないよう調節する。



コード 身近に潜み知らぬ間に出火

劣化したり、負荷が強くなることで出火する可能性が!

- ☑ 家具の下敷きや折れ曲がりに注意する。
- ☑ 電源タップは決められた容量内で使用する。
- ☑ コードまわりを定期的に点検・清掃する。
- ☑ 束ねて使用しない。



いま、備えよう。火災から命を守る3つの住宅防火対策。

消火器での有効な初期消火を ~火を使う場所に備えましょう~

いざという時に確実に消火できるよう、住宅内に消火器を備えましょう。また、使い方も定期的を確認しましょう。



初期消火のポイント

- ① 自身に危険が及ばない範囲で消火を行います。
- ② 消火剤は燃えているものに向けて噴射しましょう。
- ③ 消火剤は最後まで使い切りましょう。



住宅用火災警報器で火災の早期発見を ~鳴らない住宅用火災警報器が増えています!~

住宅用火災警報器は、煙や熱を感知し、音声や警報音で火災の発生を知らせます。



- 設置場所は全ての居室・台所・階段です。
- 定期的に作動確認をしましょう。
- 設置後10年を経過したものは機器本体を交換しましょう。



半年に1回以上の作動確認で、正常に動くか確認しましょう!

※ 作動確認時の音声は自動で停止します。

防災品で延焼拡大防止を ~防災マークが目印です~

防災品ラベルは2種類あります



提供: 日本防炎協会

※ ラベルには様々な様式があります。

防災品とは、火を近づけても着火しにくく、着火しても延焼拡大を停止する特性のある品物です。カーテンやカーペットなどの布製品に取り入れましょう。



相談しませんか？住まいの防火防災診断

高齢者や障害者の方など、災害時に支援が必要な方のお宅を消防職員が個別に訪問し、火災、地震、日常生活事故等の危険性をチェックし、安全・安心な生活を送るためのアドバイスを無料で行っていきます。診断の所要時間は約30分です。



知ろう！ 防災 行こう！ 訓練

「いつでも・どこでも・だれでも」参加できる防火防災訓練を推進しています



- お住まいの地域の訓練に参加し、防災行動力を高めましょう！
- 防火防災訓練やイベント情報等を東京消防庁公式アプリで確認することができます。
- YouTube東京消防庁公式チャンネルも利用して、みんなで防災力を高めましょう。

東京消防庁
公式アプリ



YouTube東京消防庁
公式チャンネル



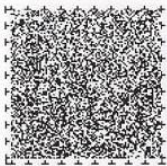
ご相談・お問合せは、お気軽に最寄りの消防署へ



東京消防庁 ホームページ
<https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp>

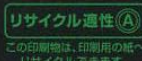
東京消防庁

検索



本リーフレットは、目の不自由な方へ情報提供できるように視覚障害者用音声コードと位置認識のための切込みを入れています。専用読み取り機によりコードの読み取りをすると、音声に変換され、文書内容が読み上げられます。

※ 専用読み取り機の給付等については、区市町村の障害福祉担当課へお問合わせください。



R5.9